

「伝統と真心を揃えて一さり気なく、美しく特別な時間と空間に凛（りん）と輝く」—。平成 20（2008）年に新しく生まれ変わった「雪駄」製造・販売の株式会社サカガワの代表取締役社長・阪川隆信さん（63）が描くコンセプトだ。3年前には、観光客が多い奈良市ならまちに「大和工房ならまち店」を構えた。若者向けに、履き心地が良くてファッショニ性の高い雪駄製品へとシフトを切る一方で、奈良県産の素材にこだわり続ける。常にストーリーを感じさせる新商品の開発と販路拡大に余念がなく、夏場に向け、近く発表する新商品には自信をみなぎらせている。

Made
in
奈良

上牧町 株式会社サカガワ



ジーパンにもよく似合う男女の黒駄

わった。雪駄といふと、男物というイメージが強いが、半面、マーケットのターゲットは女性。県産以外でも岡山のデニムや倉敷の帆布、徳島の

中国から輸入するようになり、地場産業が廃れて地壇問屋という強みはなくなつていった。

克服するのに、素材を軟らかくしたり、中に柔らかい芯を入れて、できるだけ痛くないようにした。今度は「見た目」。鼻緒には、宇陀市菟田野の鹿革印伝、斑鳩町から調達した柿渋染めなどを生地として使った。附加值を持たせるために、

機能性求め鼻緒の位置を親指側へ
ストーリーのある新商品開発に自信



高級旅館用に開発されたブランド雪駄
「凜輝(りんき)」シリーズ

ブランドを立ち上げて
12、13年。最初はアパレル、
ファッショ nの展示会に出
展して販路拡大を狙つたも
のの、上手くいかない。「そ
こで、例えばジョン・レノ
ンがジー・パンにTシャツで
雪駄を履いていたことをア
ピールしたら、裾野が広が
りました。スニーカーのみち
いに履き替えてくれれば
…」と気軽さを強調する。
次第に大手百貨店、首都
圏の取引を広げていった
が、今数字がついてきてい
るのは専門店。「冬期でも

「阿波じじう織り」、佐賀のイグサの畳、栃木のレザーなど多様な素材とコラボレーションした。売り先の人にも、当然儲かる仕組み。「三方よし」の精神で突っ走った。単なる生地や商品そのものの素材だけでなく、雪駄を履きやすい靴下も開発した。「旅館に行けば坂道もあれば階段もある。つま先が滑らないように、滑り止めを付けています」と履く人の気持ちを伝えた。

雪駄の値段は、4500円～4800円前後。形も、基本的に楕円型だけではなく、小判、角、「足なり」など多様な種類をそろえています

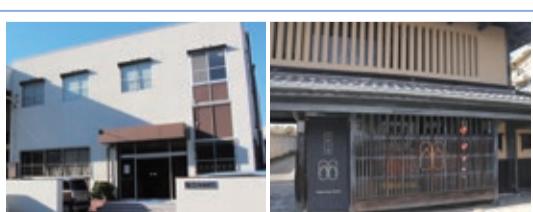
をつけて高級旅館や割烹
さんに置かせてもらつてい
ます」と手応えを感じてい
る。

高級旅館用に開発した異
っぽい「凜輝（りんき）」シ
リーズに力を入れる。コ
ーロッパ人はオールブラッ
クの『漆墨（しつこく）』が
好きなのだけど、日本人が
好むブロンズ系の『唐金（か

は当然、海外進出です。これからどんどんホテルもできますし、いわゆる『和のセレクトショップ』のような所には、「もっと販路を広げていきたいです」と将来を見据える。

できるだけ注文しようと申つたら、ある程度OEM(社)ブランドの製品を製造すること)をとつていかないと」とも。

る。サイズも客のニーズに応えている。「ちょっと高いスニーカーの値段。これから30代後半ぐらいの人に売っていきたい」と意気込む。



井力ガワ本社(写真左)と大和工場ならま右店

- 代表取締役=阪川隆信
 - 従業員数=11人
 - 資本金=1000万円
 - 事業内容=和履き「雪駄」製造・販売
 - 本社=上牧町上牧3439-16
 - オリジナルブランド大和工房ならまち店=奈良市中新屋町15
 - 電話番号=0745(76)8835